



全老健第 20-89 号

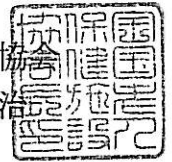
平成 20 年 5 月 27 日

厚生労働省老健局計画課長

小 関 正 彦 殿

社団法人全国老人保健施設協会

会 長 川 合 秀 治



介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰

に関する要望書

標記厚生労働大臣表彰につきましては、多年にわたり介護老人保健施設関係事業の発展向上に貢献し、老人保健福祉行政の推進に顕著な貢献があった者に対して、その功労に報いるとともに老人保健福祉行政の一層の推進に寄与することを目的に平成 15 年度に制度を創設していただきました。

今年度を含めこれまで 6 回の厚生労働大臣表彰を執り行っていただきましたが、来る平成 21 年度は、当会の創立 20 周年にあたることを踏まえ、介護老人保健施設の運営実態に即し、下記のとおり、介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰の推薦基準等について見直しを要望いたします。

記

1. 推薦基準について

- ① 現施設以前の勤務歴に介護老人保健施設を加えていただくこと
- ② 介護老人保健施設では、従事者から施設の長になるケースがあるので、従事者の経歴と施設の長の経歴を合算できるようにしていただくこと
- ③ 介護老人保健施設では、例えば、支援相談員は、看護職やリハビリ専門職あるいは介護職等からの配置換えで担当することになるなど、業務に従事する中で職種を変えるケースがあるので、同一職種の勤務歴ではなく、従事していた期間の勤務歴の合算としていただくこと

2. 被表彰者の人数枠の拡大について

平成 21 年度は、当会の創立 20 周年にあたることから、被表彰者の人数枠を拡大していただくこと

以上